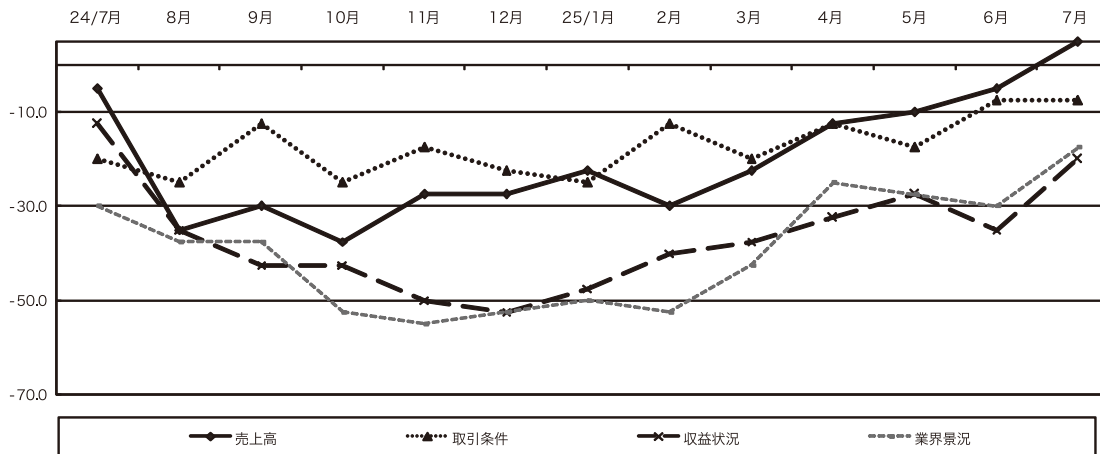


平成25年7月度 情報連絡員報告

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	24/7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	増減
売上高	-5.0	-35.0	-30.0	-37.5	-27.5	-27.5	-22.5	-30.0	-22.5	-12.5	-10.0	-5.0	5.0	10.0
取引条件	-20.0	-25.0	-12.5	-25.0	-17.5	-22.5	-25.0	-12.5	-20.0	-12.5	-17.5	-7.5	-7.5	0.0
収益状況	-12.5	-35.0	-42.5	-42.5	-50.0	-52.5	-47.5	-40.0	-37.5	-32.5	-27.5	-35.0	-20.0	15.0
業界景況	-30.0	-37.5	-37.5	-52.5	-55.0	-52.5	-50.0	-52.5	-42.5	-25.0	-27.5	-30.0	-17.5	12.5

概況

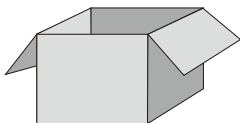
7月の前年同月比DI値は前月に比べ、「取引条件」は横ばい、それ以外のすべての項目は改善した。「売上高」は10.0ポイント、「収益状況」は15.0ポイント、「業界景況」は12.5ポイント改善した。業種や取り扱う製品によってばらつきが出ているが、総じて業況は改善傾向にあり、ねじれ国会解消による強い経済対策に期待する声がある一方、円安の影響による輸入原材料や燃料費等のコストによる先行きへの懸念や消費税増税への動向など、依然として今後の業況を注視していく必要がある。

7月中ごろから発注コストは一段と厳しいが、発注量としては少し増加の気配 鳥羽(電気機器)

製造業

【豆腐】円安の影響で輸入の原材料、副資材が値上がり、収益が悪化した。

【紙器段ボール箱】猛暑により飲料関係、冷蔵関係の動きが顕著になる。逆にその天候が農産物に悪影響を及ぼし、出荷が減少している。



【伊賀焼】7月は伊賀焼陶器まつりがあったため、伝統産業会館への入館者は昨年より少なく、売上状況も悪かった。しかし伊賀焼陶器まつりは多数の来場者を迎え、大盛況のうちに終了することができた。昨年よりも売上状況も各窯出店者共、大盛況であった。

【鳥羽(電気機器)】7月中ごろから発注コストは一段と厳しいが、発注量としては少し増加の気配が出てきた。一瞬の状態では安堵はできないが、状況が良い方向に変化していくことに期待している。

【鈴鹿(輸送機器)】各社とも円安の影響で大幅な利益増とのこと。この数カ月の景況報告通り、円安効果による海外での好調とエコカー補助金終了の反動による国内での低調が際立つものとなり、国内需要が頼みの中小企業の苦難はまだ続きそうである。

非製造業

【自転車】7月上旬、中部自転車ブロック会が開催された。各県とも売上が伸びず低調だという声が聞かれるも、販売促進のための組合事業に力を入れている模様である。金沢ではイオンバイク(株)と産学協同の協定を結ぶ「国際サイクル専門学校」が設立された。自転車産業が発展する中、業界が欲する人材が今不足している。

【熊野(商店街)】7月に入り、市内各所では夏祭りやイベントが多く開催され、週末の人の動きが活発になってきた。また長らく閉館していた鬼ヶ城の物販施設も8月のオープンに向け、市内の取引業者の商品納入が始まり、こちらも動きが活発になってきたようだ。



【旅館(鳥羽)】鳥羽みなとまつりがあり、お白石行事も始まり、夏休みということで満室のところも多く見られ、雇用人員不足のようである。伊勢神宮の遷宮は20年に1度のことなので、例年とは比べられない。

【トラック運輸業】燃料である軽油の価格が高騰しており、輸送量は増加するものの、経費増大で収益は悪化している。